

逆紹介率

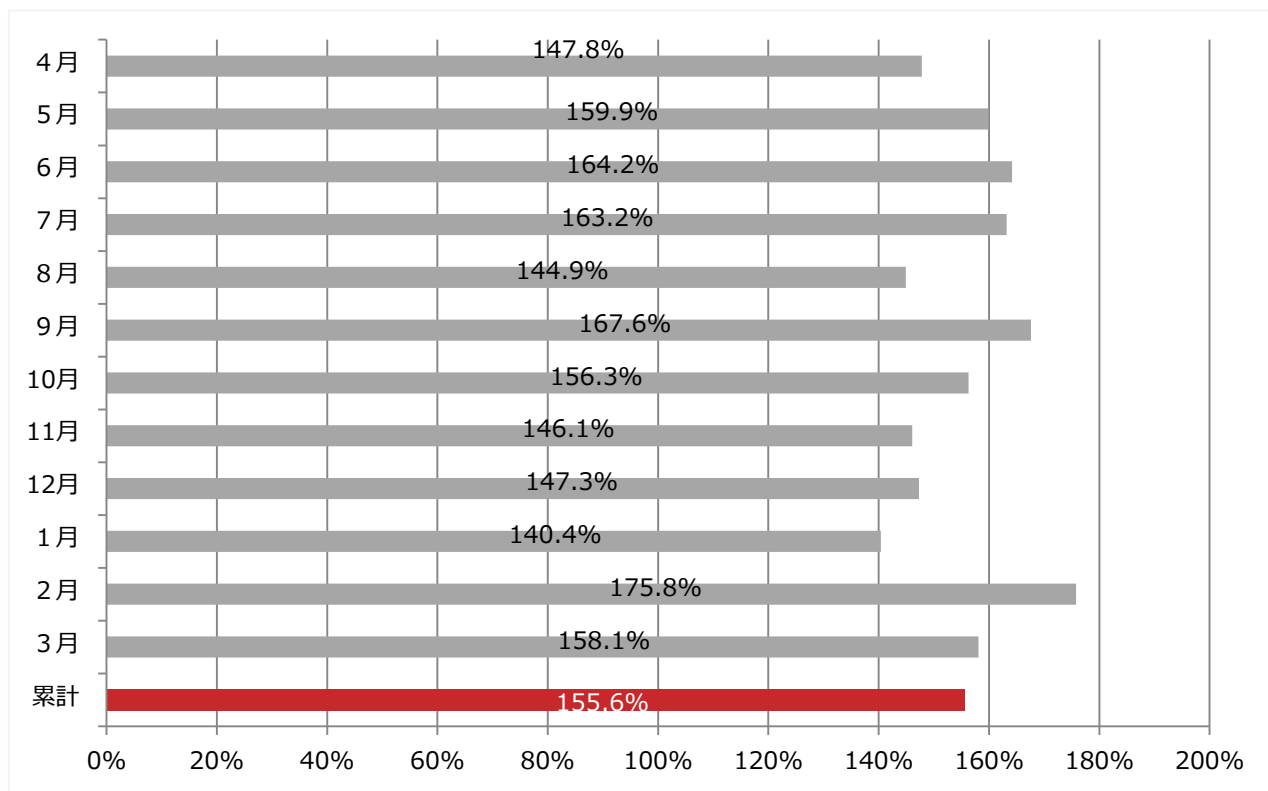
155.6 %

(平成31年4月～令和2年3月)

指標の説明

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。一方、逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者の割合です。高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する、そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ目のない医療の提供を行います。つまり、紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示す指標です。(日本病院会)

(初診患者数：5,580人)



値の算出方法

$$(\text{逆紹介患者数}) \div (\text{初診患者数} - (\text{休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数} + \text{休日・夜間の初診救急患者数})) \times 100 \quad (\%)$$